

第13回交通政策審議会航空分科会基本政策部会

日時：平成26年2月21日（金）17：00～18：00

場所：中央合同庁舎3号館 11階 特別会議室

主なご指摘：

<加藤委員・鎌田委員によるプレゼンテーションについてのご指摘>

○離島路線と離島以外の路線の傾向の違いについて、離島以外の路線のうち、新千歳や那覇に係る路線を「代替交通のない路線」として分析から除いてしまえば、解消され同じ傾向になると思われる。

○過去に廃止された路線を分析対象に加えてみたり、あるいは公的な支援のある路線と無い路線を色分けしてみたり、といった分析が今後可能なのであれば興味深い。

○大局的に見れば現在の路線補助がリーズナブルな形で行われているという点が確認できたことは意義深い。

○比較要素として運賃水準は重要であり、考慮に入れた分析がなされるべきと考えるが、仮に難しいのであれば、運賃と時間的優位性との相関など何らか言及を付しておいた方が良い。

<フリーディスカッションにおけるご指摘>

○空港経営改革について、やはり空港の主たる事業は空港そのものの航空系の事業であり、空港ビルなどの事業、特に物販をはじめとする非航空系の事業などは、はそれに付随するもので、本業が傾けば、周辺事業も成り立たないのだということを認識し直すべき。

○2020年の東京オリンピック・パラリンピックの実現、訪日客2000万人ということを見据えて、戦略的方向性を議論した方が良い。

○安全と安心は異なる概念であり、十把一絡げで議論するのではなく、違いを意識して資料等の文章化を行っていくことが必要。

以上